

高校生が 作った ページ

寺子屋ガールズ

A photograph of three female students in school uniforms (grey sweaters over white collared shirts with blue bows) smiling and making a 'V' hand gesture. They are standing in front of a white wall.

実際に日本語を学び、日本の文化を体験しながら生活を送る京都民際日本語学校の生徒の皆さんへアンケートを行い、日本語だけではなく、ひとりひとりの問題にさまざまな形で関わってサポートを行っている松浦さんにお話を伺うことにしました。

INTERVIEW

京都民際日本語学校の生徒の皆さん
90人にアンケートにご協力頂きました。

国	人数
ベトナム	28人
その他	28人
インドネシア	10人
バングラデッシュ	10人
中国	7人
スリランカ	7人

年齢層	人数
20代	62人
10代	10人
不明	4人
30代	13人
40代	1人

- 交通機関がややこしい
- (日本語が難しく、)
日本人とコミュニケーション
をとること

身近に起きている
教育問題といえ……

Q1 外国からの困っている方々を受け入れる時に受け入れる側が心がけていることは何ですか？

A1 大抵は、来られた方々の話をまず聞きます。どうして困っているのか、何に困っているのかを明らかにすることで、その人の状況を把握し、その人に合った支援をしています。その時、必要以上にその人に深入りをしてはいけません。

本人側にある問題はなんですか？

が必要だが、国同士のマナーの違いなどから治安が悪くなることを恐れていたり、あまり彼らに関わりたくないという理由から、彼らに日本に居ついてほしくない

この記事が、みなさんにとって、少しでも今起こっている問題に目を向けるきっかけになれば良いと思います。

Q3 私たちが出来ることは何ですか？

A3 何よりもまずは、現状を知ろうと情報を吸収して、そこから何が出来るか考え、行動を起こすことです。もしそれが上手くいかなくても良いのです。興味を持ち、考えることや話し合うこと自体が世界を良くすることのきっかけになるかもしないのです。

い」という考えが無意識のうちに定着してしまっています。日本で生活している者として、海外から来られた方を認めることにどうしても抵抗があるのです。また、日本に来て、困っている方々の問題自体を知らない人が多いことも問題点の1つです。

Q3 私たちが出来ることは何ですか？

A3 何よりもまずは、現状を知ろうと情報を吸収し

て、そこから何が出来るか考え、行動を起こすことです。もしそれが上手くいかなくても良いのです。興味を持ち、考えることや話し合うこと自体が世界を良くすることのきっかけになるかもしないのです。

SDGs(Sustainable Development Goals)とは、持続可能な開発のための17の目標と169の具体目標からなる国際連合の開発目標です。このSDGsの前には、2015年に達成期限を設定されたMDGs(ミレニアム開発目標)がありました。が、期限を迎えたため、MDGsに変わる新しい国際目標として定められたものが、現在のSDGsです。この中で、私たちは4番の「質の高い教育をみんなに」に焦点を当て、活動しました。

SDGs
「質の高い教育をみんなに」

教育問題について



SDGs 中の第4目標に、「質の良い教育をみんなに」がありますが、日本では初等教育があり、この目標とは無関係であるようにも思えます。まずは世界全体での教育状況を少し見てみましょう。

少し見てみましょう。

現在、世界で学校に行つて教育を受けられずにいる子どもと若者はなんと約**2億6400万人**。所得が低い国の中では**12人**に**1人**しか中等教育を受けることができていません。教育問題にはジェンダー平等問題とも関係があるため、男女関係なく教育が受けられるような環境の実現に向けての対策がある程度なされた国もあります。しかし未だに**男の子よりも女の子のほうが教育を受けられない状況**があるのが現状です。